

# 結果を出す組織は、 どんな会議をしているのか？

相原 秀哉



最短の時間、最小限の労力で  
会議の成果を最大化する本

著者は20年以上にわたりコンサルタントとして、さまざまな会社の3000以上の会議をサポートしてきた。

その中で気づいたことは、いくら優秀な人材がそろっていても、正しい方法で会議を運営しないと成果は出ないということ。スポーツでいえば、いくら優れた選手がそろっていても戦略・戦術がないと試合に勝てないということだ。

数々のクライアントの会議に参加する中で、会議の目的を達成して結果を出す確率を上げるためのメソッドを編み出し、その成果を余すところなく解説したのが本書である。

## 【著者】

相原秀哉（あいはら ひでや）

株式会社ビジネスウォリアーズ 代表取締役  
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了後、IBMビジネスコンサルティングサービス（現日本IBM）入社。グローバルスタンダードの業務改革手法「Lean Six Sigma」を活用したコンサルティングを得意とし、**2012年に日本IBMで初めて同手法の最上位資格「Lean Master」に認定される。**

業界・業種を問わずホワイトカラーの業務改革コンサルティングに従事し、業務生産性向上やDX推進、DX認定取得などの案件を手がける。

Webメディア「マイナビニュース」にてビジネスコラム「成果を上げながら定時で帰る仕事術」を約5年にわたり連載。著書に『リモートワーク段取り仕事術』（明日香出版社）、共著書に『研究開発者のモチベーションの高め方と実践事例』『研究開発部門の新しい“働き方改革”の進め方』（ともに技術情報協会）がある。

## 【CONTENTS】

- 第1章 始まる前に半分終わらせておく
- 第2章 議論をリアルタイムに可視化する
- 第3章 フレームワークを使って議論をコントロールする
- 第4章 停滞を突破する最速テクニック
- 第5章 多数決、全会一致で意思決定をしてはいけない

## 【書誌情報】

本体価格-----1600円  
 ISBN----- 978-4866802756  
 ページ数-----240  
 判型-----46判

初版6,000部